

志村 華絵 (大学院保健福祉学研究科兼務)

1 著書

なし

2 学術論文

- 1) 志村華絵. (2023). 世代間交流事業に参加した祖父母世代の成人への交流に関する意識調査. 日本世代間交流学会誌, 13 巻 1 号 pp.13-20.
- 2) 志村華絵. (2023). 高齢者と子どもの交流を行う施設が交流に期待する効果 施設への質問紙調査結果を中心に. 日本世代間交流学会誌, 13 巻 1 号 pp.21-26.
- 3) 渡邊 恵, 長島俊輔, 玉川淳, 志村華絵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森朱輝, 藤田峰子, 長山洋史, 池田公平, 五味郁子, 樋口良子, 福岡梨紗, 岸川学, 高橋恭子, 水戸優子. (2023). 多職種連携を推進する事例学習モジュールの開発と教育効果～多職種連携教育における「教育用模擬電子カルテ」の導入にむけた取り組み～. 日本保健医療福祉連携教育学会学術誌, 17 巻 1 号 pp.2-13.

3 その他の著作

なし

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 米国内科学会 (American College of Physicians; ACP) 日本支部 Physicians' Well-being Committee 委員 (2022 年 7 月～現在)
医師のバーンアウト予防に関する活動に関わっており, ACP 日本支部会員の医師のバーンアウトに関する質問紙調査研究を行っている.
- 2) 日本内科学会 認定指導医, 認定総合内科専門医, 認定内科医
- 3) 資格認定試験 (認定内科医・総合内科専門医) 病歴評価委員として総合内科専門医試験の病歴評価を行った.
- 4) 日本血液学会認定血液指導医, 認定血液専門医
- 5) 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 6) 日本輸血・細胞治療学会認定医
- 7) 日本医師会認定産業医
- 8) 日本救急医学会 ICLS (Immediate Cardiac Life Support) インストラクター
- 9) 難病指定医
- 10) 乳幼児食指導士

5 社会貢献

- 1) 長津田厚生総合病院 健診センター 非常勤医師
- 2) 神奈川県労働衛生福祉協会 非常勤医師
- 3) 立教女学院中学高等学校 生徒及び教職員の内科健診業務を行った.

6 講演, 放送

なし

7 学会等での活動

- 1) 第 65 回日本老年医学会学術集会 口演発表 (2023 年 6 月 16 日)
志村華絵「幼児と高齢者の世代間交流が両者に与える医学的効果：老年科専門医及び小児科専門医への質問紙調査」
- 2) 日本世代間交流学会 第 14 回全国大会 口演発表 (2023 年 12 月 2 日)
志村華絵「高齢者と子どもの世代間交流による医学的効果 -神経内科専門医と精神科専門医への質問紙調査結果より-」
- 3) 第 1 回ヒューマンサービス学会学術集会 (2023 年 11 月 5 日)
渡邊 恵, 長島 俊輔, 玉川 淳, 志村 華絵, 加藤木 真史, 佐々木 杏子, 森 朱輝, 藤田 峰子, 長山 洋史, 池田 公平, 五味 郁子, 樋口 良子, 福岡 梨紗, 岸川 学, 高橋 恭子, 水戸 優子 「多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果：パイロットスタディ」

8 学内教育活動

2023 年度 科目責任者担当科目

(社福 2 年) 医学概論

(リハ 2 年) 内科学 I, 内科学 II

2023 年度 担当科目

(栄養 2 年) 生体機能学実験

(リハ 2 年) 生理学実習

- 1) 日本プライマリ・ケア連合学会の総合医育成プログラムを通年で受講し、各分野の最新の情報を講義に反映させた。
- 2) 学生にモチベーションを維持し興味を持ってもらえるよう、教科書の知識のみならず実際の臨床現場での経験を講義内容に含めるようにした。
- 3) アクティブラーニング教育の一環として、学生にプレゼンテーションを行う機会を設け、学会形式で発表会を行った。
- 4) 講義内容には、当該分野の過去の国家試験出題内容を反映させた。重要事項を中心に講義終了 5 分を小テストにし、次回講義で内容の解説をして復習に役立てやすいように工夫した。講義ごとにリアクションペーパーで学生の理解度を把握するよう心掛けた。寄せられた質問には、毎週講義内で回答した。
- 5) オムニバスの講義（看護学科 2 年生 疾病と治療 I）については、オンライン講義を利用して臨床の最先端で活躍している医師・医学研究者（各科目の専門医・指導医かつ研究者）に講義を依頼し、学生の聴講の機会を作った。
- 6) 看護学科からの依頼で、成人看護学（慢性期）II 侵襲性のある看護技術実習時の有事対応を引き受けた。

9 学内各種委員会活動

- 1) アドミッションセンター 分析部門委員
- 2) 進路支援ワーキンググループ委員 自己評価委員
- 3) 時間割編成ワーキンググループ委員
- 4) 20周年記念事業企画ワーキンググループ委員
- 5) 研究倫理審査委員会 アドバイザー
医学的な内容を含む研究の倫理審査につき、医師として助言を行った。

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 「幼老複合施設における世代間交流が高齢者に与える医学的効果の検討」文部科学省科学研究費 若手研究（小区分 52010:内科学一般関連）

11 学内研究助成金の受託

なし

12 受賞

なし

13 特許など

なし

14 その他

- 1) 2022年度学長推薦研究（看護学科 渡邊恵先生）の共同研究者として、看護学科で使用していた模擬電子カルテを多職種連携の授業に活用する試みに関わり、他学科と協同して4年次生の「ヒューマンサービス総合演習」で事例提供ツールとして模擬電子カルテを活用している。従来よりあった症例を医学的に検証し、全症例について大幅な改定を行った。2023年度も同研究を継続した。
- 2) 「全身関節弛緩性と筋力，骨格筋量，ダイナペニア・サルコペニアとの関係の検討」（令和5年4月～令和5年12月31日） 田中繁治，志村華絵
（医学的アドバイザーとして研究に参加した。）
- 3) 「地域在住高齢者におけるビタミンB1栄養状態と食生活状況の関連」（令和6年3月～） 五味郁子，志村華絵，福岡梨沙
（医学的アドバイザー，血液検査実施要員として研究に参加している。）